

**2014年度第2回 NGO-JICA 協議会  
ダイジェスト版議事録**

日時： 2014年 9月 26日（金曜日） 14:30 ~ 17:30
件名： 2014年度第2回 NGO-JICA 協議会
出席者：出席者リストの通り

標記会議を実施したところ、概要以下のとおり。なお、逐語録は追って JICA サイトにて公開予定。

**【協議の要旨】**

**(1) 国内における NGO-JICA 連携について**

NGO 側コーディネーター担当者（NANGOC 龍田氏）より、これまでの議論の振り返りと課題、地域ネットワークからの意見が紹介された。その後、地域 NGO と JICA 国内機関の対話の場について、中部と四国からグッドプラクティスが共有され、意見交換が行われた。意見交換では、JICA 国際協力推進員の役割や、地域における対話の重要性などが話し合われた。

また、今後、コーディネーター以外の NGO がより協議会に参加しやすくすることと、協議会の意思決定の過程をより透明性の高いものにするを目的として、協議会の運営についてコーディネーター間で検討・議論する旨の意思表示がなされた。

**(2) 防災／減災における NGO-JICA 連携強化について**

NGO 側コーディネーター担当者（KNC 村井氏）より、議論経緯について説明があった後、①人材育成、②効率的な人材確保のためのシステムづくり、③国連防災世界会議にむけた連携の3点に関して、前回協議会以降の個別協議進捗が共有された。

**(3) 民間連携の進展について**

民間連携部会（JANIC 鶴見氏/JICA 国内事業部、民間連携事業部）より、議論経緯と今年度のスケジュール概要について説明があった後、JICA スキームを用いた NGO-企業-JICA の連携事例が紹介された。また、今後実施予定のアンケート調査の内容案が共有され、設問内容に関して、10月月末までインプットを求める旨アナウンスがあった。

**(4) 草の根 10年の振り返り分科会について**

分科会事務局（JANIC 山口氏/JICA 国内事業部）より、委員間の議論ポイントと最終報告書のアウトラインが共有され、次回協議会で報告書ドラフトを共有予定の旨、報告があった。

**(5) 世界の人びとのための JICA 基金の進捗報告**

JICA 国内事業部より、先回の協議会からの進捗として、活動提案事業の募集にかかる広報、JICA サイトの修正、NGO との共同寄附キャンペーンについて報告があった。

**(6) RBA の理解促進にかかる個別協議報告**

NGO 側コーディネーター担当者（JVC 平野氏）より、これまでの議論経緯と個別協議の結果報告について報告があり、JICA 企画部よりコンサルタント向けの環境社会配慮にかかる能力強化研修において講義を設けた旨等共有があった。

**(7) 活動の質向上に向けた NGO の取り組みについて**

JANIC より、Sphere、HAP、開発効果にかかるイスタンブール原則等の研修事業や関連の国際会議（CPDE 北東アジア地域会合）開催について報告があった。